



2010～2011年度 七尾ロータリークラブ

事業計画 (案)

会場監督

(会場監督) 津田 文雄

(副監督) 武井 忠仁 多田 邦彦 竹森 四郎

例会が秩序正しく、会員相互の友愛と親睦の場として、楽しく和やかに運営されるよう心を配り努める。

クラブ奉仕委員会

(委員長) 木下 博安

(基本方針)

他の委員会と連携し、効果的な運営を実施、推進する。

出席奨励委員会

(委員長) 涌浦 一之

(委員) 横山 文男 大根 喜義 瀬口 哲二

出席なくして奉仕の理想は実現できない。会員としての責務を自覚し出席率の向上を図る。

1. 年間出席率 100%を目標に
2. メークアップの奨励
3. 出席優良者の表彰

予算 120,000円

ニコニコ箱管理委員会

(委員長) 戸田 和伸

(委員) 中島 忠秀 白井 修

会員のニコニコボックスへのご理解とご協力のもと、クラブ例会に明るい話題を披露し、楽しい例会の一助となるとともに奉仕活動の資金拡大と活発なる事業展開ができるよう努力する。

目標額 1,400,000円

親睦活動委員会

(委員長) 高田 勝
 (委員) 安藤 八雄 吉田 博俊 石崎 健嗣
 小間 敏秀 小林 茂成 山田 宗人
 櫻井 定宗 石田 朗 浅野 良幸

(基本方針)

スムーズで和やかな雰囲気の例会設営を SAA とともに心がけ、参加して楽しい親睦事業を企画、運営していきます。

事業内容	実施時期	予算
◇ 家族例会		
・初例会 「加賀屋」	7月2日	400,000
・納涼家族例会 「あえの風」	8月5日	300,000
・年末家族例会 「番伊」	12月17日	300,000
・物故会員追悼法要 「本延寺」	4月22日	100,000
◇ 親睦事業		
・会員、配偶者の誕生、ご結婚記念祝い	毎月	500,000
・親睦家族旅行		
・中能登まほろば RC 合同例会 (ホスト七尾 RC)		} 150,000
・七尾みなと RC 合同例会 (ホスト七尾みなと RC)		
・七尾鹿島四 RC 合同新年互例会 (ホスト・七尾みなと RC)	1月7日	
・花見例会	4月8日	
・他団体との親睦事業		
七クラブゴルフコンペ (ホスト:田鶴浜 LC)	5月	15,000
七クラブ親睦会 (ホスト:能登島 LC)	2月	15,000
・親睦ゴルフコンペ	年3回	
・各委員会事業、例会設営、各種同好会等に協力		
◇国内の他ロータリークラブとの友好促進		50,000
合計		1,830,000

プログラム委員会

(委員長) 平田 信也
 (委員) 高沢 秀晃 石橋 宏文

- ① 各委員会と連携し、ロータリーのテーマに沿ったプログラムを企画する。
- ② 会員相互の人脈を生かして、会員が例会に楽しく参加し、資質の向上につながるような企画に努める。
- ③ 地域に視点を置き、地域の各界各分野で活動する人を講師に招き、よりバラエティーに富んだ卓話を企画する。

予算 250,000 円

会員増強・広報委員会

(委員長) 濱 暉元

(基本方針)

目標を達成するために、クラブの活動を会員のみならず、地域にも広報し、会員増強に繋げるため、全会員とコミュニケーションを図る。

会員増強委員会

(委員長) 国分 誠雄

(委員) 小田 孝信 戸田 洋

(基本方針)

純増1名以上を目標とし、新会員の勧誘と退会防止に努める。

会員選考

奉仕の理想に結ばれた我々は、その輪を広げなければならない。各々の業界や所属団体そして地域社会に門戸を広げましょう。

1. 本人の人格に対する、業界や所属団体や地域社会の評判
2. 事業所に対する、業界や所属団体や地域社会の評判
3. 奉仕の精神を備えているかどうか
4. 会員として財政的な義務を果たせるかどうか
5. 例会に規則正しく出席できるか

以上のことを特に注意し、会員に推薦されたすべての人を検討し、理事会に報告する。

職業分類

1. 職業分類一覧表を作成し、会員に配布する。
2. 推薦された新会員候補者の適格化を職業分類の見地から調査し、理事会に報告する。
3. 職業の多様化に伴って、各分野にわたり調査を行い、職業分類の充填と適切化を検討する。

広報委員会

(委員長) 宮川 晴行
(委員) 岡田 和雄 清水 了

(基本方針)

地域社会に対して、七尾ロータリークラブの活動等を広報することにより、会員の活動意欲を高揚させ、更には会員増強に繋がるよう努める。

広報

- ・ホームページを充実させ、会員向けの記録だけでなく、広く地域社会に対して活動をアピールする。
- ・地域紙への広告。

予算 200,000 円

ロータリー情報

ロータリー情報を会員に的確に伝えることを使命とし、幅広い知識と奉仕の精神の理解を深め、ロータリー活動と資質の向上を目指します。

1. 新会員候補者、新会員に会員の特典と責務に関する適切な理解を与える。
2. 例会または週報にあらゆるロータリー活動に関する情報提供。
3. ロータリー情報交換と勉強の場として情報集会を行う。

予算 200,000 円

雑誌

1. 「ロータリーの友」の読書奨励
2. クラブ事業の積極的な情報提供

予算 200,000 円

クラブ会報委員会

(委員長) 村田 成司
(委員) 川村 茂治 竹田 徹 木下 義隆

会報誌を通じて例会及び諸情報の概要を正確に記録し、ロータリー活動への関心をより深め参加意欲の沸く会報作成に心がける。

1. 例会及び諸事業の的確な発信
2. 委員会委員全員の協力により会報を作成する。
3. クラブテーマを念頭におき、より楽しめる会報の作成。

予算 600,000 円

会 計

井村 能尚

クラブの全資金の保管および記帳、資金の受入れ及び支払い会計報告の作成、予算編成への協力、その他関連する職務の処理をする。

1. 資金の受入れ

- ・ 理事会によって指定された金融機関にすべての資金を預け入れる。
- ・ 年会費は6回に分納（7月～12月）し、その月の20日に各会員の指示された口座より振替入金する。
- ・ 新会員の入会金および寄附金は一括納入する。
- ・ 年会費のなかに米山奨学会普通寄附金を含むものとする。

2. 資金の支払い

すべての勘定書は会計の署名をもって月末までのものを原則として10日に金融機関振込みにて支払う。

3. 年一回または二回、クラブの収支および財産状態に関する情報書を作成し会員に配布する。
4. 国際ロータリーに会員各々から一律に人頭分担金の徴収と国際ロータリーの機関誌の有料購読者となることが入会の条件となっていることを周知する。

地域社会奉仕委員会

	(委員長)	政浦	芳典						
職業奉仕	(委員長)	国下	正英						
社会奉仕	(委員長)	竹森	四郎						
新世代	(委員長)	木下	義隆						
共同奉仕	(委員長)	佐原	博之						
(委員)	伊藤 良一	吉村	義博	宮崎	博	大根	富男		
	多田 邦彦	山田	宗人	竹田	徹	櫻井	定宗		
	浅野 良幸								

(基本方針)

地域に合った奉仕活動を通して、地域資源を育む。

職業奉仕委員会

(委員長) 国下 正英

(基本方針)

会員一人ひとりが、高い職業倫理観を持ち、職業人としての道徳的水準を高め、職業を通じて地域社会の精神とリソースを育む。

事業内容	実施日	予算
◎ 職業奉仕 ・「四つのテスト」を遵守し、職業を通じて社会に奉仕する ・毎月第一例会「四つのテスト」の唱和 ・職業奉仕月間 職業奉仕の推進	毎 月 10 月	
◎ 就職相談・職業指導 ・青少年に対する職業奉仕プログラム 模擬面談の実施(七尾東雲高校にて実施) ・フレッシュマン・チア・フェスタ助成 ・青少年に対する職場体験支援 ローター・キャリア教育支援事業「職業体験支援プログラム」の推進協力	8 月 4 月	15,000
◎ 職業情報 ・会員及び地元事業所での職場例会		10,000
合 計		25,000

社会奉仕委員会

(委員長) 竹森 四郎

(基本方針)

地域に住む人々の生活の質の向上を願い、地域社会に奉仕する。

事業内容	実施日	予算
◎人間尊重		
・七尾市美術展覧会協賛七尾 RC 会長賞	11 月	10,000
・知的障害者育成協会助成	12 月	10,000
・高齢者問題共催事業 (第 7 回七尾市いきいきグラント [®] ゴルフ大会会長賞)	6 月	20,000
◎環境保全		
・「希望の丘ロータリーの丘」清掃例会		10,000
・植樹 (未定)	5 月	100,000
・「御抜川大通り」の清掃奉仕(IAC・RAC 合同)	7 月	
◎地域発展		
・地域の事業に協力 「能登和倉万葉の里マラソン」ボランティア 地域の歴史遺産(七尾城など)の理解を深める	3 月 13 日	30,000
合 計		180,000

新世代委員会

(委員長) 木下 義隆

(基本方針)

地域の新世代の多様なニーズを認識し将来への準備をさせるための支援に努める。

事業内容	実施日	予算
◎新世代		
・第 15 回新世代のためのロータリープログラム (内容: 高校生対象の映画鑑賞)	8 月 26 日	150,000
・全能登私の主張大会共催事業	11 月	5,000
・第 15 回中学生女子バレーボール大会主催	12 月	100,000
・七尾市少年団体連絡協議会共催事業 (少年の社会奉仕活動を称える会・少年団体大会)		20,000
・七尾市等伯子ども写生大会共催事業	4 月	5,000
合 計		280,000

共同奉仕IA・RA委員会

(委員長) 佐原 博之

(基本方針)

インターアクトクラブ(IAC)、ローターアクトクラブ(RAC)の活動を支援し、地域社会や国際社会への共同奉仕事業を通じて「奉仕の理想」を分かち合い、次世代の地域社会の担い手を育成する。

事業内容	実施日	予算
◎ 共同奉仕		
・IA、RA との共同奉仕事業の展開 「御抜川大通り」清掃	7月	10,000
・IA、RA の会員増強		
・I A 奉仕活動、委員会活動の出席奨励。海外研修派遣		100,000
・R A ”		450,000
合 計		560,000

国際社会奉仕委員会

	(委員長)	勝山	一						
国際奉仕	(委員長)	石間	進二						
国際青少年交換	(委員長)	新保	康彦						
(委員)		前山	正一	上坂	英雄	竹本	正信	清水	真澄
		赤	喜久造	徳永	金保	平田	信也	村田	成司
		石田	朗						

(基本方針)

ロータリーの綱領の第4項に表現されているよう「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進する」を実践していきたい。

国際奉仕委員会

(委員長) 石間 進二

(基本方針)

国際交流を推進して、相互理解を深め、世界理解と親善と平和に努める。

事業計画	実施時期	予算
◎国際奉仕		20,000
・世界理解月間に国際理解を深めるプログラムを企画・実施	2月	
・姉妹クラブ	通年	
米国モントレールRCとの友好促進		
韓国金泉RCとの友好促進		
・七尾市他団体の国際活動に参加・協力	通年	
七尾モントレール友好協会に協力		30,000
七尾市国際交流協会に協力	実施時	5,000
・地区友情交換プログラムに協力		
・米国ニューオーリンズ国際大会に協力		
◎世界社会奉仕	随時	
・世界社会奉仕事業(WCS : World Community Service)に協力		
地区世界社会奉仕委員会活動に協力		
書き損じハガキの回収	通年	
・海外援助活用車両の斡旋に協力		
合 計		55,000

国際青少年交換委員会

(委員長) 新保 康彦

(基本方針)

国際青少年交換事業、姉妹クラブとの交流を通して、相互の国における文化・習慣・風俗に親しみ理解を深め、国際親善と国際平和を推進する。

事業計画	実施時期	予算
◎国際青少年交換 ・第18回モントレイ短期青少年交換プログラム企画・実施 派遣：7月21日～7月30日 受け入れ：7月30日～8月8日 ・地区国際青少年交換プログラムに協力 ベルギー短期交換学生の受け入れに協力(8月7日～21日)	7～8月 8/14～8/21 (石川県内)	600,000
合 計		600,000

ロータリー財団・米山委員会

	(委員長)	木地 一夫		
ロータリー財団	(委員長)	和倉 憲治		
	(委員)	谷 良三	山口 政支	
米山	(委員長)	武井 忠仁		
	(委員)	田村 努	卷 亜洲夫	

(基本方針)

今後益々重要となるロータリー財団・米山奨学会の役割への理解を深め、協力を仰ぎ、その活動を様々な機会に広報し、地域社会とともに国際間の理解と親善と平和を推進する。

事業計画	実施時期	予算
◎ロータリー財団 ・ロータリー財団月間に理解を深めるプログラムを企画・実施 ・国際規模の人道的、教育的文化交流プログラムの支援のための一般寄付の奨励 EREY (Every Rotarian, Every Year) 100 \$ の達成と PHF 等への勧誘 ・地区ロータリー財団セミナーに参加し、プログラムの最新情報を学び、会員に理解を深める ・ロータリーのポリオ・プラスプロジェクトの完成のために協力 (2008～2010 年度の 3 年間で、一人 7,500 円の寄付を目標とする最終年)	11 月 通年 通年	50,000
◎ 米山奨学会 ・米山月間に米山奨学事業の理解を深めるプログラムを企画・実施 ・一般寄付 (年間 5,000 円は会費に含まれる) への理解 ・特別寄付 (個人・法人) への奨励	10 月 通年	
合 計		50,000